



～言語環境を整え、1人ひとりが輝く学校づくり～

今年度、人権教育主任、情報集約担当を務めます野尻貴輝と申します。1年間宜しくお願いします。

4月の始業式、入学式から始まり、5月には、体育大会、6月には植木文化ホールにて熊本県学校農業クラブ連盟年次大会を本校生徒が運営しました。人権教育としましては、6月に各学年にて人権 LHR を行いました。今年度も差別を自分事と捉えられるように、グループワークなど言語活動を取り入れております。概要と生徒感想(抜粋)を紹介します。

1年生「情報モラル」

近年増加しているSNSのトラブルについて、書き込み例などを見比べながら、グループで適切な使い方について学びました。

- ・言葉を言わずとも文字でも人を傷つけることができる時代なのできちんと考えてから送りたいです。
- ・相手にメッセージを送るときはいつも気をつけているつもりだけど、たまにテンション上がっていてふざけて送ることがあるので、しっかり考えて送ろうと思いました。
- ・SNSの使い方をあらためて考えようと思いました。そして今日学んだことは家族の人にも話そうと思いました。

2年生「障がい者の人権」

障がい者差別解消法など人権三法を学び、合理的配慮について考えました。

- ・障がいには見えるものと見えないものの2つがあり、見えるものはその人の目線になって、見えないものは話を聞き、その人の事を理解することが一番だと思いました。
- ・差別などしている友だちや人がいたら注意して、互いにその人らしさを認め合いながら生活していきたいです。
- ・私は今日の話で自分も気づかぬうちに差別していましたかもと思います。今後障がいの方の気持ちも考えてみんながすごしやすい社会になるようにしたいです。

3年生「北朝鮮拉致問題」…アニメ「めぐみ」を視聴し、拉致問題について考えました。

- ・私はこれまで拉致問題を知っていたけれど、何人拉致されたや骨を偽造して他人の骨などを混ぜて返していたなど、改めて身にしみてこれからも拉致問題について考えていこうと思いました。
- ・もし自分の身近で行ってしまった時、自分は冷静に判断できなくなると思いました。家族、クラスメイトが居ることを当たり前と思わず、一日一日の関わりを大事にしたいと思います。
- ・とても残酷なやり方で悲しみから怒りに変わりました。大切な人が突然いなくなることがどれだけ残酷でくやしいことなのか改めて知ることができました。



人権コラム「いじめや差別は誰の問題」

近年、いじめや差別についての考え方が大きな転換を迎えました。これまで「差別される」人たちについて学んでいましたが、「される」の前に「する」という行為が必ず先にあります。だから、「なぜ差別をするのか」という視点が今後は大事になります。また、する側は無意識な場合もあります。差別する気はなかった、いじめる気はなかった。しかし、その言動が被害者にとってはいじめや差別になります。問題は悪意などではなく、言動です。お互いに、相手のことを知ることで、理解を深め、思いやりのある、反差別のなかまづくりをしていきましょう。